

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2024 年 第 37 週（9 月 9 日～9 月 15 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし		
三類感染症 細菌性赤痢	1 人	類型	無症状病原体保有者
		病原体	<i>S. flexneri</i>
		推定感染地域	バングラデシュ
腸管出血性大腸菌感染症	5 人	類型	患者 4 人、 無症状病原体保有者 1 人
		血清型	O157 1 人、O55 1 人、 不明 3 人
四類感染症 デング熱	2 人	推定感染地域	フィリピン 2 人
レジオネラ症	6 人	病型	肺炎型 6 人
五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	5 人	菌種	<i>Klebsiella</i> sp. 3 人、 <i>Escherichia</i> sp. 1 人、 <i>Providencia</i> sp. 1 人
急性脳炎	1 人	病原体	不明
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 人	血清群	A 群 1 人、B 群 1 人
侵襲性肺炎球菌感染症	2 人		
水痘（入院例）	1 人	病型	検査診断例
梅毒	10 人	病型	早期顕症Ⅰ期 7 人、 早期顕症Ⅱ期 2 人、 無症状病原体保有者 1 人
百日咳	4 人	年齢階級	0 歳 1 人、1 歳 1 人、 6 歳 1 人、20 歳代 1 人

< 定点把握対象疾患の患者情報 >

新型コロナウイルス感染症(7.86→6.92:図1-1, 2, 3)の定点当たり報告数は、前週と比較してわずかに減少した。保健所別では、依然として幸手(12.86)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、前週と比べ15～19歳の報告数が増加し、10歳代の占める割合が多い状況にある。基幹定点における入院患者の報告は46人(前週71人)であり、年齢階級別では、65歳以上が全体の約89%となっている。手足口病(7.71→9.27:図2-1, 2)の定点当たり報告数は、前週に引き続き増加した。保健所別では、川崎市(13.50)、朝霞(13.27)、さいたま市(12.29)、鴻巣(12.08)保健所管内からの報告が多い。伝染性紅斑(0.29→0.48)の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。保健所別では、南部(3.80)保健所管内からの報告が特に多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎1人、流行性角結膜炎34人の報告があった。基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎1人、マイコプラズマ肺炎46人(前週31人)の報告があった。マイコプラズマ肺炎(図3)の報告数は、前週に引き続き大きく増加した。定点当たり報告数は3.83で、2016年の流行のピーク(2.90)を上回り、過去10年で最も高い水準となっている。好発年齢を年齢3歳階級別でみると、小学校高学年にあたる9～11歳が16人と最も多く、次いで小学校低学年にあたる6～8歳が12人であり、小学生の患者が全体の約61%となっている。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-ids.html>)で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第37週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1-1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

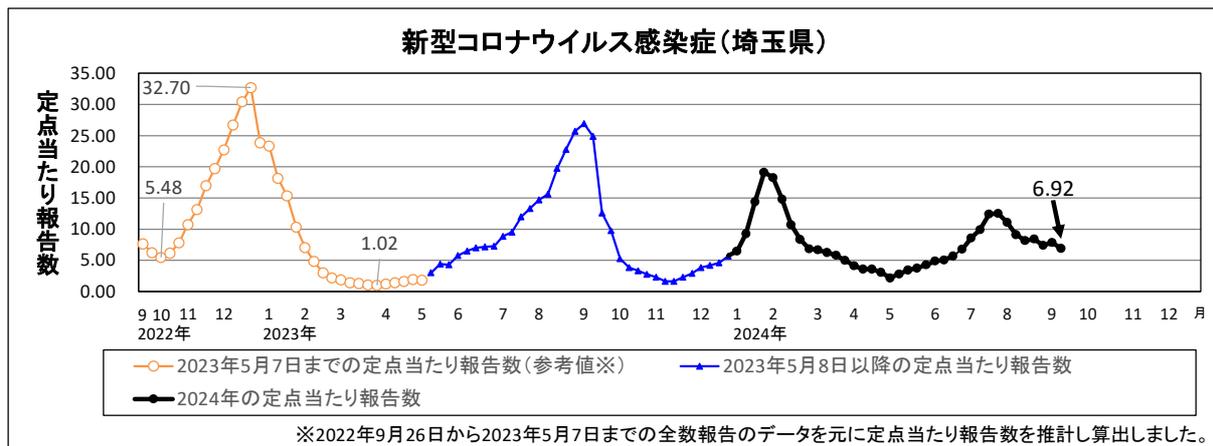


図1-2 新型コロナウイルス感染症の保健所別流行状況の推移（2024年第35週～第37週）

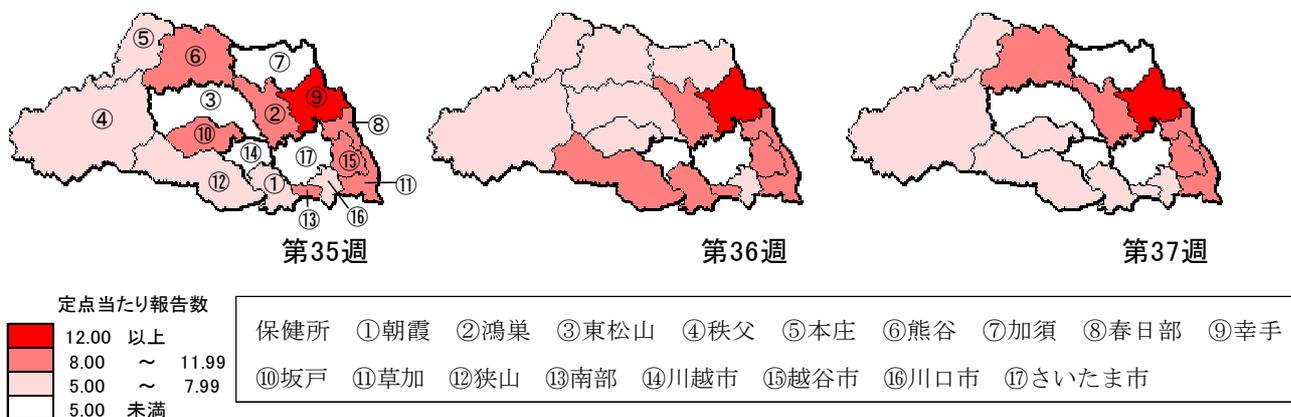
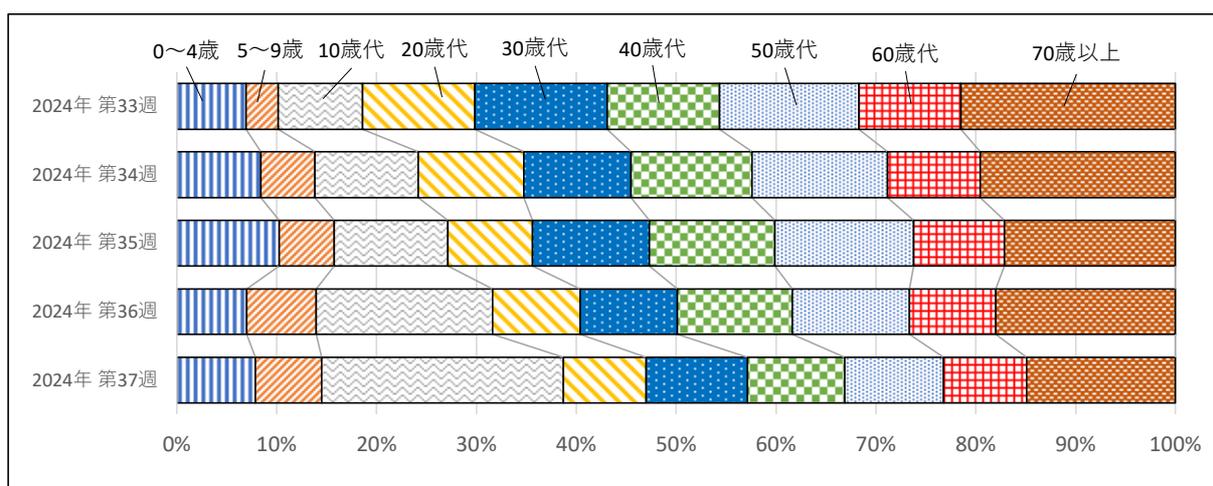


図1-3 新型コロナウイルス感染症の年齢階級別報告割合の推移（2024年第33週～第37週）



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図 2-1 手足口病の定点当たり報告数の推移

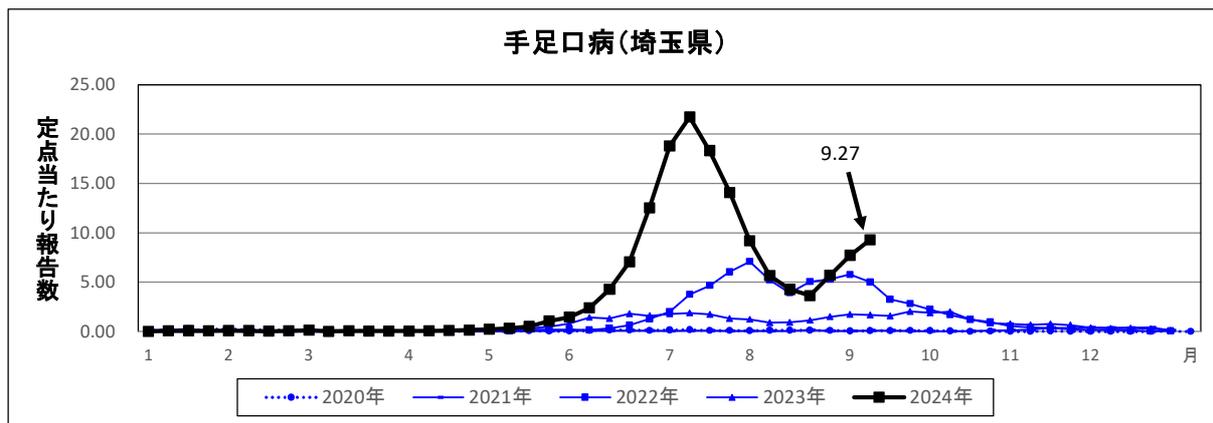


図 2-2 手足口病の保健所別流行状況の推移 (2024年第35週~第37週)

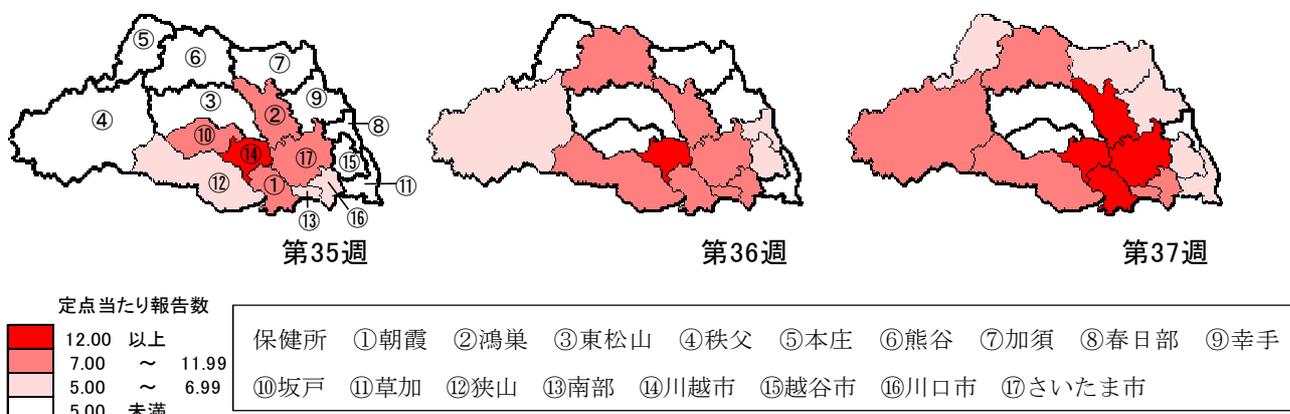
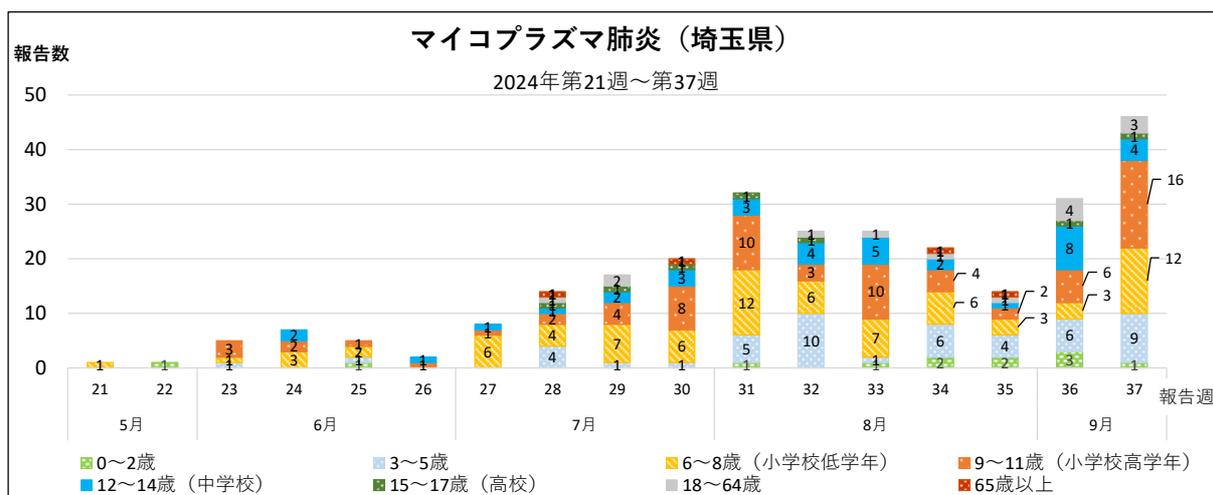


図 3 マイコプラズマ肺炎の報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第37週)

(2024年9月17日 16:15集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢	1	1	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	5	119			
四類感染症					
E型肝炎		29	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		4	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		1
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		1
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		3
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		1
チクングニア熱			レジオネラ症	6	83
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱	2	10	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		17	侵襲性肺炎球菌感染症	2	68
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		8	水痘(入院例に限る)	1	2
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	5	72	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		1	梅毒	10	312
急性脳炎	1	19	播種性クリプトコックス症		7
クリプトスポリジウム症			破傷風		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	94	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		23	百日咳	4	78
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		17	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(2024年8月分)

2024年8月の届出総数は、患者32人、無症状病原体保有者14人の計46人であった。前月と比べると患者数、無症状病原体保有者数ともに減少した。過去1年と比べると、患者数は少なく、無症状病原体保有者数は同水準であった。推定感染地域は国内23人、国外3人、不明20人であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2023年8月～2024年8月)

	2023年*					2024								累計**
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
総計	59	62	50	59	76	69	72	55	54	51	61	61	46	469
年齢階級														
10歳未満	1	0	0	0	5	2	1	1	2	2	1	0	0	9
10歳代	0	1	1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	0	4
20歳代	5	6	3	2	8	2	6	8	7	6	3	13	6	51
30歳代	3	2	3	6	7	9	6	1	3	2	6	2	5	34
40歳代	1	3	2	4	3	4	8	6	5	4	5	3	2	37
50歳代	5	10	5	10	5	6	9	5	6	5	8	9	6	54
60歳代	5	10	10	8	12	6	12	3	3	7	9	5	8	53
70歳代	19	7	10	8	10	16	10	12	11	9	10	14	8	90
80歳代	16	17	15	17	17	19	14	15	10	12	13	12	7	102
90歳以上	4	6	1	3	9	5	4	4	6	3	6	3	4	35
性														
男	40	40	29	39	44	36	48	30	28	27	37	43	27	276
女	19	22	21	20	32	33	24	25	26	24	24	18	19	193
類型														
患者	49	49	34	42	42	46	43	36	37	40	43	37	32	314
感染症死亡者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染症死亡疑いの死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
疑似症患者	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
無症状病原体保有者	10	13	16	17	34	22	28	19	17	11	18	24	14	153
病型														
肺結核	35	38	28	26	31	31	30	20	22	24	32	24	17	200
肺結核及びその他の結核	7	2	2	7	5	5	2	3	5	4	1	6	5	31
その他の結核	7	9	4	9	6	10	11	13	10	12	10	7	10	83
疑似症患者	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
無症状病原体保有者	10	13	16	17	34	22	28	19	17	11	18	24	14	153
推定感染地域														
国内	37	42	31	35	50	47	37	25	34	29	35	31	23	261
国外	5	4	1	6	3	3	8	4	6	6	9	9	3	48
不明	17	16	18	18	23	19	27	26	14	16	17	21	20	160

*:2023年の届出数は暫定値

** :2024年1月からの累積届出数

8月に診断された46人を病型別にみると、肺結核は20歳代以上の年齢階級から計17人の報告があり、60歳代以上が12人で約71%であった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2024年8月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
総計	17	5	10	0	14	46
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	0	0
10歳代	0	0	0	0	0	0
20歳代	2	2	1	0	1	6
30歳代	1	0	2	0	2	5
40歳代	1	0	0	0	1	2
50歳代	1	1	1	0	3	6
60歳代	3	1	1	0	3	8
70歳代	4	0	1	0	3	8
80歳代	3	1	2	0	1	7
90歳以上	2	0	2	0	0	4

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第37週

9月9日~9月15日)

保 健 所	報告数	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)
		#1																				
全 県	報告数	143	1,805	64	51	364	607	22	1,521	78	56	125	13	1	34	-	1	46	-	-	-	46
	定点当たり	0.55	6.92	0.39	0.31	2.22	3.70	0.13	9.27	0.48	0.34	0.76	0.08	0.02	0.81	-	0.08	3.83	-	-	-	3.83
朝 霞	報告数	34	174	9	2	34	50	3	199	18	4	8	-	-	2	-	1	7	-	-	-	6
	定点当たり	1.48	7.57	0.60	0.13	2.27	3.33	0.20	13.27	1.20	0.27	0.53	-	-	0.50	-	1.00	7.00	-	-	-	6.00
鴻 巣	報告数	4	208	3	7	38	49	1	145	4	4	8	2	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.21	10.95	0.25	0.58	3.17	4.08	0.08	12.08	0.33	0.33	0.67	0.17	-	-	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数	1	34	-	1	5	25	-	23	2	2	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	定点当たり	0.13	4.25	-	0.20	1.00	5.00	-	4.60	0.40	0.40	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00
秩 父	報告数	-	27	-	3	2	-	-	21	-	-	4	1	*	*	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	-	5.40	-	1.00	0.67	-	-	7.00	-	-	1.33	0.33	*	*	-	-	-	-	-	-	1.00
本 庄	報告数	1	36	3	-	1	-	2	26	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.14	5.14	0.75	-	0.25	-	0.50	6.50	0.50	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊 谷	報告数	7	109	3	1	28	36	-	86	-	1	12	1	-	2	-	-	-	-	-	-	6
	定点当たり	0.54	8.38	0.38	0.13	3.50	4.50	-	10.75	-	0.13	1.50	0.13	-	1.00	-	-	-	-	-	-	6.00
加 須	報告数	11	47	3	1	4	-	-	33	2	2	1	-	-	2	-	-	5	-	-	-	5
	定点当たり	1.10	4.70	0.50	0.17	0.67	-	-	5.50	0.33	0.33	0.17	-	-	2.00	-	-	5.00	-	-	-	5.00
春 日 部	報告数	3	90	7	3	29	20	1	29	-	1	7	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.30	9.00	1.17	0.50	4.83	3.33	0.17	4.83	-	0.17	1.17	-	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数	43	180	4	6	26	6	2	54	2	-	6	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	3.07	12.86	0.44	0.67	2.89	0.67	0.22	6.00	0.22	-	0.67	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数	1	64	2	-	4	40	-	25	-	4	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
	定点当たり	0.10	6.40	0.33	-	0.67	6.67	-	4.17	-	0.67	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.00
草 加	報告数	12	177	3	4	19	46	1	64	1	2	8	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.63	9.32	0.25	0.33	1.58	3.83	0.08	5.33	0.08	0.17	0.67	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数	3	187	14	3	60	28	2	153	4	6	10	2	1	3	-	-	3	-	-	-	1
	定点当たり	0.12	7.48	0.88	0.19	3.75	1.75	0.13	9.56	0.25	0.38	0.63	0.13	0.20	0.60	-	-	3.00	-	-	-	1.00
南 部	報告数	1	51	9	2	17	38	1	52	19	2	13	-	-	-	-	-	10	-	-	-	2
	定点当たり	0.13	6.38	1.80	0.40	3.40	7.60	0.20	10.40	3.80	0.40	2.60	-	-	-	-	-	10.00	-	-	-	2.00
川 越 市	報告数	5	69	-	7	10	20	2	108	1	2	7	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.36	4.93	-	0.88	1.25	2.50	0.25	13.50	0.13	0.25	0.88	-	-	0.50	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数	4	112	-	1	13	37	-	46	-	3	1	3	-	-	-	-	11	-	-	-	5
	定点当たり	0.31	8.62	-	0.13	1.63	4.63	-	5.75	-	0.38	0.13	0.38	-	-	-	-	11.00	-	-	-	5.00
川 口 市	報告数	3	102	-	7	25	79	4	113	6	8	8	1	-	-	-	-	3	-	-	-	4
	定点当たり	0.15	5.10	-	0.54	1.92	6.08	0.31	8.69	0.46	0.62	0.62	0.08	-	-	-	-	3.00	-	-	-	4.00
さいたま市	報告数	10	138	4	3	49	133	3	344	17	14	18	3	-	23	-	-	7	-	-	-	9
	定点当たり	0.23	3.21	0.14	0.11	1.75	4.75	0.11	12.29	0.61	0.50	0.64	0.11	-	2.56	-	-	7.00	-	-	-	9.00

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第37週 9月9日～9月15日)

	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	143	1	2	7	4	4	5	7	7	7	7	6	21	10	5	8	19	14	3	3	3
新型コロナウイルス感染症	1,805	20	24	40	19	13	26	21	21	20	24	34	220	217	149	183	176	179	150	155	114
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	64	7	17	24	6	5	3	2	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	51	-	1	11	13	6	6	7	3	-	1	-	2	-	1						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	364	-	-	11	14	29	40	36	48	40	37	24	62	4	19						
感染性胃腸炎	607	6	35	96	55	57	57	42	47	43	36	31	71	11	20						
水痘	22	1	1	-	-	2	3	3	3	2	-	2	5	-	-						
手足口病	1,521	6	66	302	236	243	235	167	93	57	41	30	32	3	10						
伝染性紅斑	78	-	-	2	8	10	12	18	7	7	8	4	2	-	-						
突発性発しん	56	-	11	36	4	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	125	4	9	27	16	15	19	15	10	2	4	1	3	-	-						
流行性耳下腺炎	13	-	-	-	-	2	1	4	1	2	-	3	-	-	-						
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
流行性角結膜炎	34	1	1	2	-	1	-	2	-	-	-	-	1	-	4	11	6	3	1	1	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	46	-	7	24	11	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ(入院)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新型コロナウイルス感染症(入院)	46	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	3	38				

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第35週 (8月26日～9月1日)

令和6年9月18日

<全国情報>

インフルエンザ/ COVID-19定点報告疾患:インフルエンザの定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(9.20)、宮城県(0.79)、埼玉県(0.58)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は43例と前週と比較して減少した。都道府県別では18都道府県から報告があり、年齢別では0歳(1例)、1～9歳(11例)、10代(4例)、30代(1例)、40代(2例)、50代(3例)、60代(3例)、70代(5例)、80歳以上(13例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は岩手県(15.44)、青森県(14.53)、福島県(13.54)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は3,029例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(65例)、1～9歳(76例)、10代(10例)、20代(29例)、30代(49例)、40代(52例)、50代(146例)、60代(290例)、70代(780例)、80歳以上(1,532例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は山形県(3.57)、岩手県(2.30)、新潟県(1.91)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.71)、岩手県(0.68)、大分県(0.64)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(6.32)、福岡県(3.76)、茨城県(3.56)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は大分県(6.97)、福井県(5.28)、石川県(4.55)である。手足口病の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は富山県(9.90)、滋賀県(9.61)、山形県(9.36)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は東京都(0.67)、神奈川県(0.65)、青森県(0.51)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(5.17)、北海道(2.75)、山形県(2.64)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位2位は長崎県(0.14)、岩手県(0.08)、福島県(0.08)、宮崎県(0.08)である。

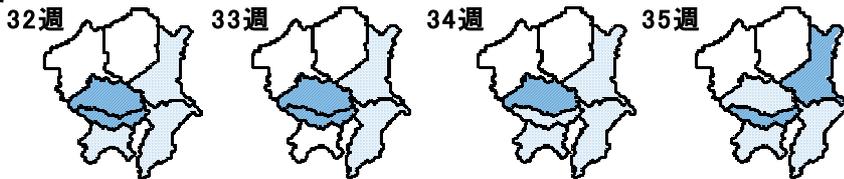
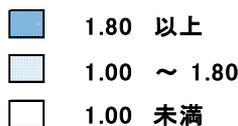
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は愛知県(2.67)、大阪府(2.67)、兵庫県(2.50)、岐阜県(2.20)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。3都道府県から3例報告があり、年齢別では5～9歳(1例)、10代(1例)、60代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年第35週(8月26日～9月1日): 通巻第26巻 第35号 より

<関東情報>

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は、東京都(2.08)、茨城県(1.85)からの報告が多い。

マイコプラズマ肺炎



2024年 35週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数 1,874 定点当たり 0.38	504 0.33	19 0.16	3 0.04	11 0.13	149 0.58	60 0.30	130 0.31	132 0.36
新型コロナウイルス感染症	報告数 36,891 定点当たり 7.46	10,536 6.90	1,265 10.54	768 10.24	670 7.88	1,921 7.42	1,810 8.92	1,987 4.78	2,115 5.73
RSウイルス感染症	報告数 2,039 定点当たり 0.65	283 0.30	32 0.43	31 0.66	5 0.09	48 0.30	24 0.19	68 0.26	75 0.32
咽頭結膜熱	報告数 823 定点当たり 0.26	234 0.24	12 0.16	5 0.11	27 0.51	53 0.33	52 0.41	56 0.21	29 0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 5,501 定点当たり 1.75	1,683 1.76	267 3.56	62 1.32	72 1.36	367 2.27	262 2.08	344 1.31	309 1.33
感染性胃腸炎	報告数 8,241 定点当たり 2.63	2,608 2.72	173 2.31	69 1.47	202 3.81	474 2.93	375 2.98	730 2.78	585 2.52
水痘	報告数 385 定点当たり 0.12	121 0.13	6 0.08	7 0.15	9 0.17	23 0.14	19 0.15	19 0.07	38 0.16
手足口病	報告数 17,872 定点当たり 5.70	5,110 5.33	188 2.51	167 3.55	185 3.49	924 5.70	562 4.46	1,589 6.04	1,495 6.44
伝染性紅斑	報告数 500 定点当たり 0.16	421 0.44	2 0.03	4 0.09	6 0.11	45 0.28	39 0.31	175 0.67	150 0.65
突発性発しん	報告数 924 定点当たり 0.29	300 0.31	14 0.19	16 0.34	15 0.28	53 0.33	39 0.31	93 0.35	70 0.30
ヘルパンギーナ	報告数 2,561 定点当たり 0.82	698 0.73	28 0.37	26 0.55	51 0.96	108 0.67	101 0.80	194 0.74	190 0.82
流行性耳下腺炎	報告数 112 定点当たり 0.04	40 0.04	1 0.01	2 0.04	1 0.02	8 0.05	8 0.06	12 0.05	8 0.03
急性出血性結膜炎	報告数 13 定点当たり 0.02	4 0.02	-	-	-	3 0.07	-	-	1 0.02
流行性角結膜炎	報告数 329 定点当たり 0.47	160 0.77	28 1.65	6 0.50	5 0.36	33 0.80	20 0.57	14 0.37	54 1.06
細菌性髄膜炎 #2	報告数 15 定点当たり 0.03	4 0.05	2 0.15	1	1 0.11	-	-	1 0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数 16 定点当たり 0.03	5 0.06	-	-	-	-	2 0.22	2 0.08	1 0.08
マイコプラズマ肺炎	報告数 569 定点当たり 1.18	126 1.45	24 1.85	6 0.86	6 0.67	14 1.17	11 1.22	52 2.08	13 1.08
クラミジア肺炎 #3	報告数 2 定点当たり 0.00	2 0.02	-	-	-	1 0.08	-	1 0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 3 定点当たり 0.01	1 0.01	-	-	-	-	-	1 0.04	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

感染症発生動向調査
2024年

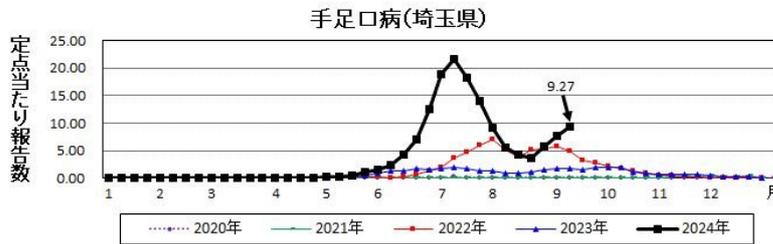
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第17週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第18週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第19週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第20週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第21週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第22週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第23週](#)

感染症の流行状況 2024年 第37週

2024年第37週（9月9日～9月15日）の要点

[手足口病](#)の定点当たり報告数は、前週に引き続き増加しました。

[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	手足口病	↑	★★★★
新型コロナウイルス感染症	↓	—	伝染性紅斑（りんご病）	↑	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発疹	→	★
咽頭結膜熱（プール熱）	→	★	ヘルパンギーナ	→	★★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
感染性胃腸炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘（みずぼうそう）	→	★	流行性角結膜炎	→	★★★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい→★、★★、★★★★→大きい）

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

また、全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。



埼玉県のマスコット コバトン